

コスト等検証委員会の  
ミッション及び論点について  
(案)

# ご討議いただきたい点

1. 本委員会のミッションについて
2. 本委員会で検討すべき論点について
3. 本委員会の進め方について

# 本委員会のミッション(案)

7月29日のエネルギー・環境会議において示された「革新的エネルギー・環境戦略」策定に向けた中間的な整理を踏まえると、本委員会のミッションは、以下の通り、整理できるのではないかと考えられる。

## <背景>

これまでの試算が別々の場でなされていたり、その試算には含まれていなかった様々な事項が考慮されるべきと考えられるようになったこと。

## <ミッション>

新たなエネルギーベストミックスの検討を、国民合意を得つつ行うために、各電源の発電コストなどについて、網羅的に、かつ整合性を持った、客観的なデータの提供を行うこと。

## <留意すべき事項>

- \* 特に、原子力の発電コストについての徹底的な検証は必須
- \* 発電コストに加え、再生可能エネルギーの導入可能量など普及のポテンシャルについても、これまでの各省調査を検証

本委員会の成果を踏まえて、エネルギー・環境会議と総合資源エネルギー調査会等関係機関が、エネルギーセキュリティや環境への適合などの観点も踏まえて、エネルギーベストミックスを検討

# 本委員会での検討すべき論点(案)

本委員会として検討すべき論点を、大きく、以下のように整理していか。

## 論点1

### 【コスト試算における基本的なフレームワーク】

- 試算方法
- 新たに取り組むべき課題(3つのチャレンジ)
  - ・対象電源の拡大
  - ・対象費目の追加・精査
  - ・将来に向けての試算
- 試算にあたっての主な前提条件

## 論点2

### 【化石燃料関連】

- CO2対応費用
- 燃料費上昇
- コージェネレーション

## 論点3

### 【再生可能エネルギー関連】

- 技術革新効果／量産効果
- 系統安定化費用
- 導入ポテンシャル／導入可能量

## 論点4

### 【原子力関連】

- バックエンド費用
- 将来リスク対応費用
- 追加的安全対策費用

## 論点5

### 【共通事項など】

- 政策経費の扱い
- 広告費の扱い
- 揚水発電及び蓄電池の扱い
- 省エネ効果
- 計画から稼働までの期間
- 経済効果

# 本委員会の進め方(案)

今後、各論点ごとに以下のスケジュールで進めるということではないか。

